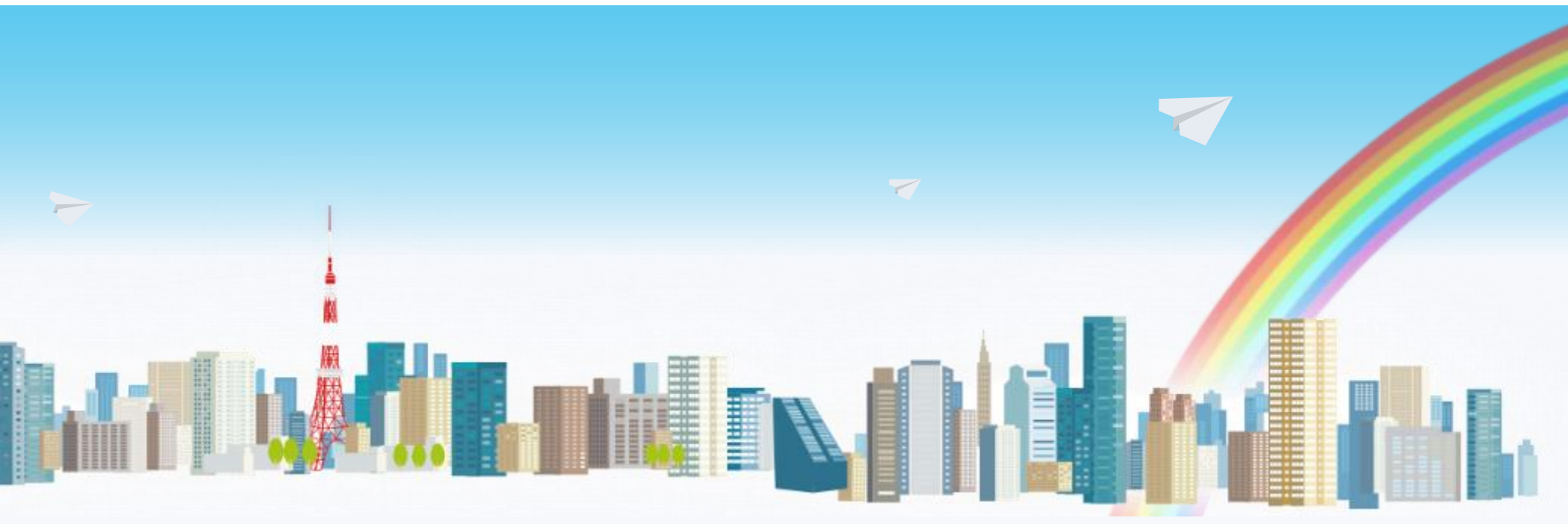


2024年7月12日

2024年11月期 第2四半期 決算説明資料



AHCグループ株式会社
証券コード：7083



1	2024年11月期 第2四半期実績	3P
2	2024年11月期 通期業績予想	15P
3	2024年11月期 主要取組事項	21P
4	補足資料（会社・事業概要）	29P



1	2024年11月期 第2四半期実績	3P
2	2024年11月期 通期業績予想	15P
3	2024年11月期 主要取組事項	21P
4	補足資料（会社・事業概要）	29P



- 既存事業所の売上の回復と前期に開設した事業所が順調に立ち上がり、売上高は前年同期比249百万円増の3,092百万円、営業利益は前年同期比184百万円増の80百万円となった

(単位：百万円)

	2023年11月期 第2四半期累計 実績 (2022/12~2023/05)		2024年11月期 第2四半期累計 実績 (2023/12~2024/05)		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	2,843	100.0%	3,092	100.0%	249	8.8%
売上原価	2,687	94.5%	2,757	89.2%	69	2.6%
売上総利益	155	5.5%	335	10.8%	179	115.0%
販売費及び一般管理費	259	9.1%	254	8.2%	△4	△1.9%
営業利益又は営業損失	△103	△3.6%	80	2.6%	184	-
経常利益又は経常損失	△82	△2.9%	97	3.2%	180	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益 又は四半期純損失	△64	△2.3%	52	1.7%	117	-



- 売上高は介護事業では未達となったものの、福祉・外食事業では予想を達成した。営業利益は新規事業所の開設遅れの影響もあり予想を上回った。経常利益は物価高騰に対する助成金などが想定以上にあり、予想を大きく上回った

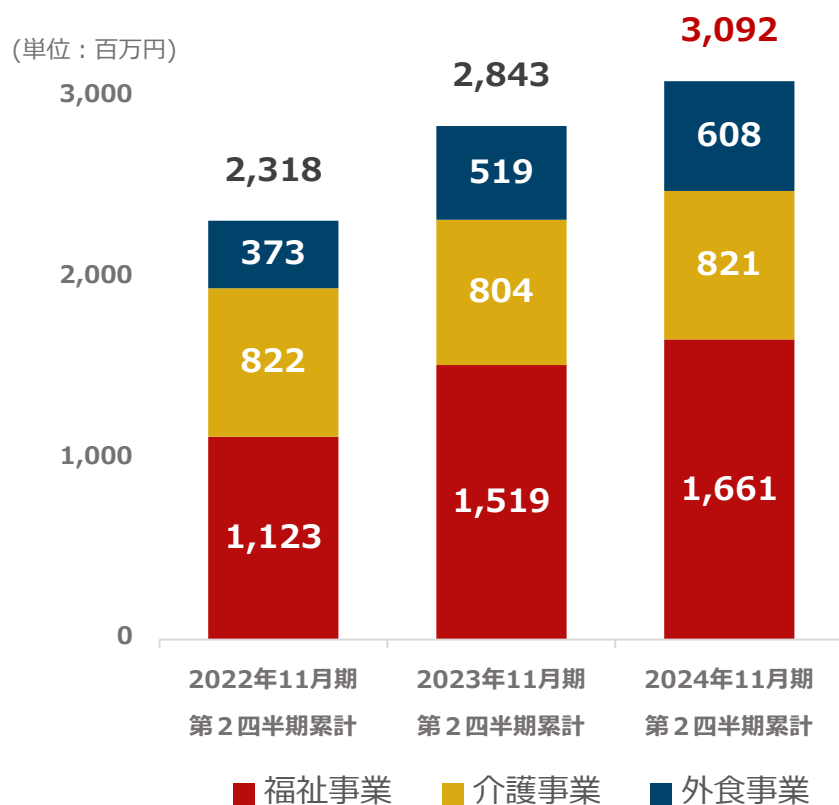
(単位：百万円)

	2024年11月期 第2四半期累計 予想 (2023/12~2024/05)		2024年11月期 第2四半期累計 実績 (2023/12~2024/05)		予想比 増減額	予想比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	3,065	100.0%	3,092	100.0%	26	0.9%
営業利益	4	0.2%	80	2.6%	76	1,634.1%
経常利益	1	0.0%	97	3.2%	96	7,955.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 又は四半期純損失	△8	△0.3%	52	1.7%	60	-

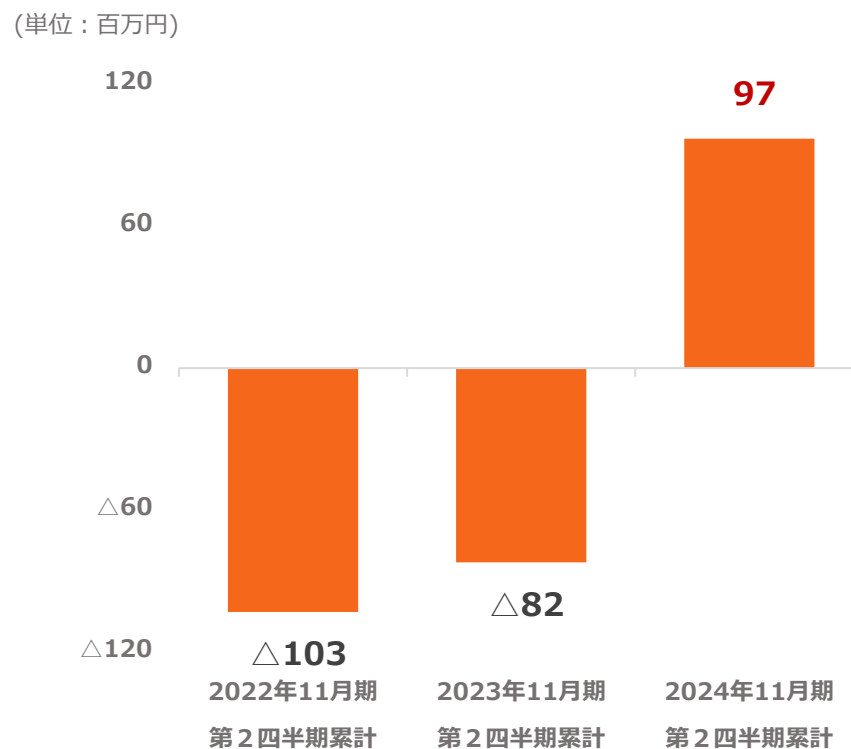


- 売上高は第2四半期累計時点で初めて3,000百万円を達成
- 経常利益は前期比で大きく改善し黒字を達成できた

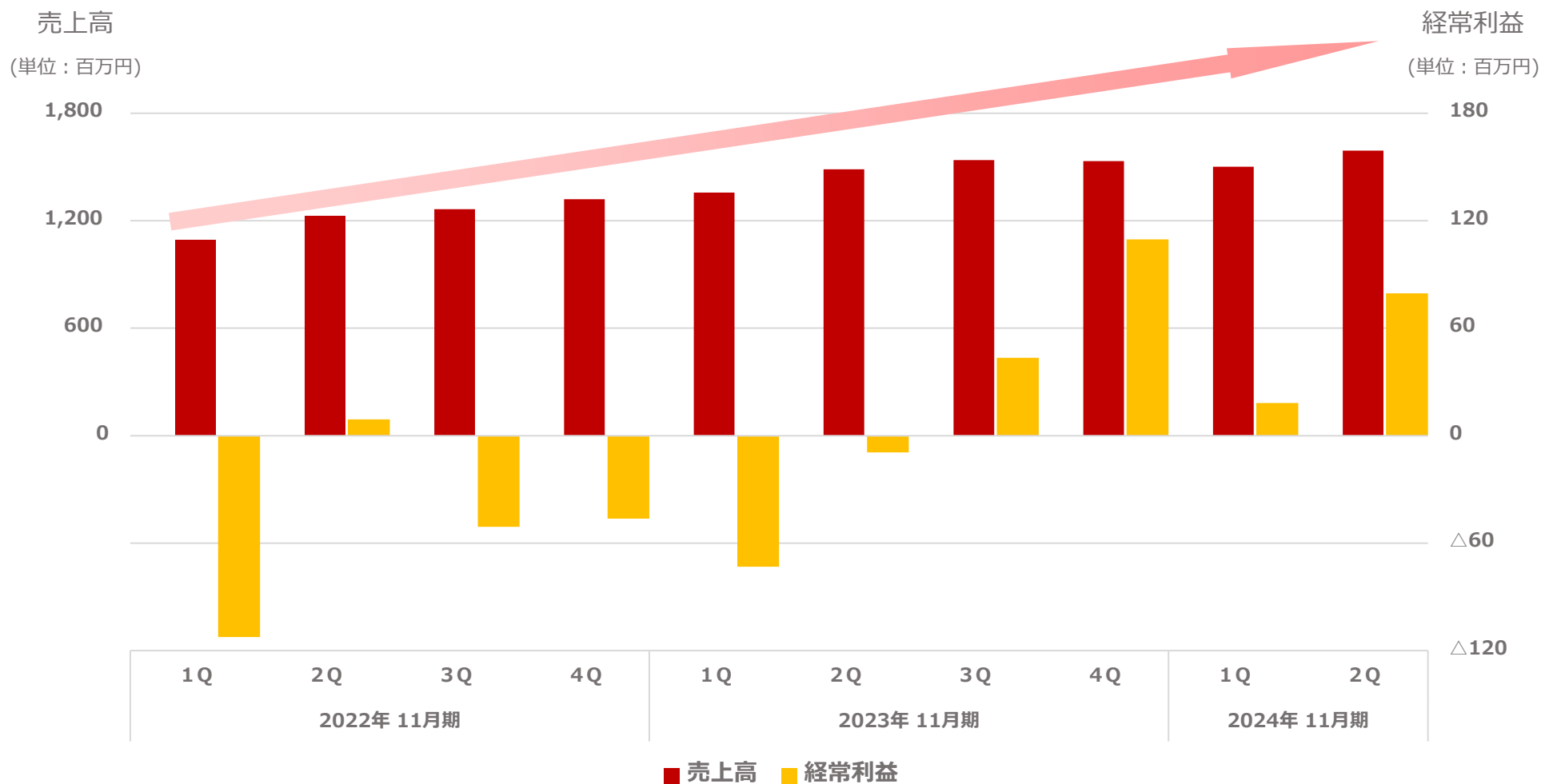
売上高の推移



経常利益の推移



■ 売上高は順調に推移している。経常利益については4四半期連続での黒字を達成した



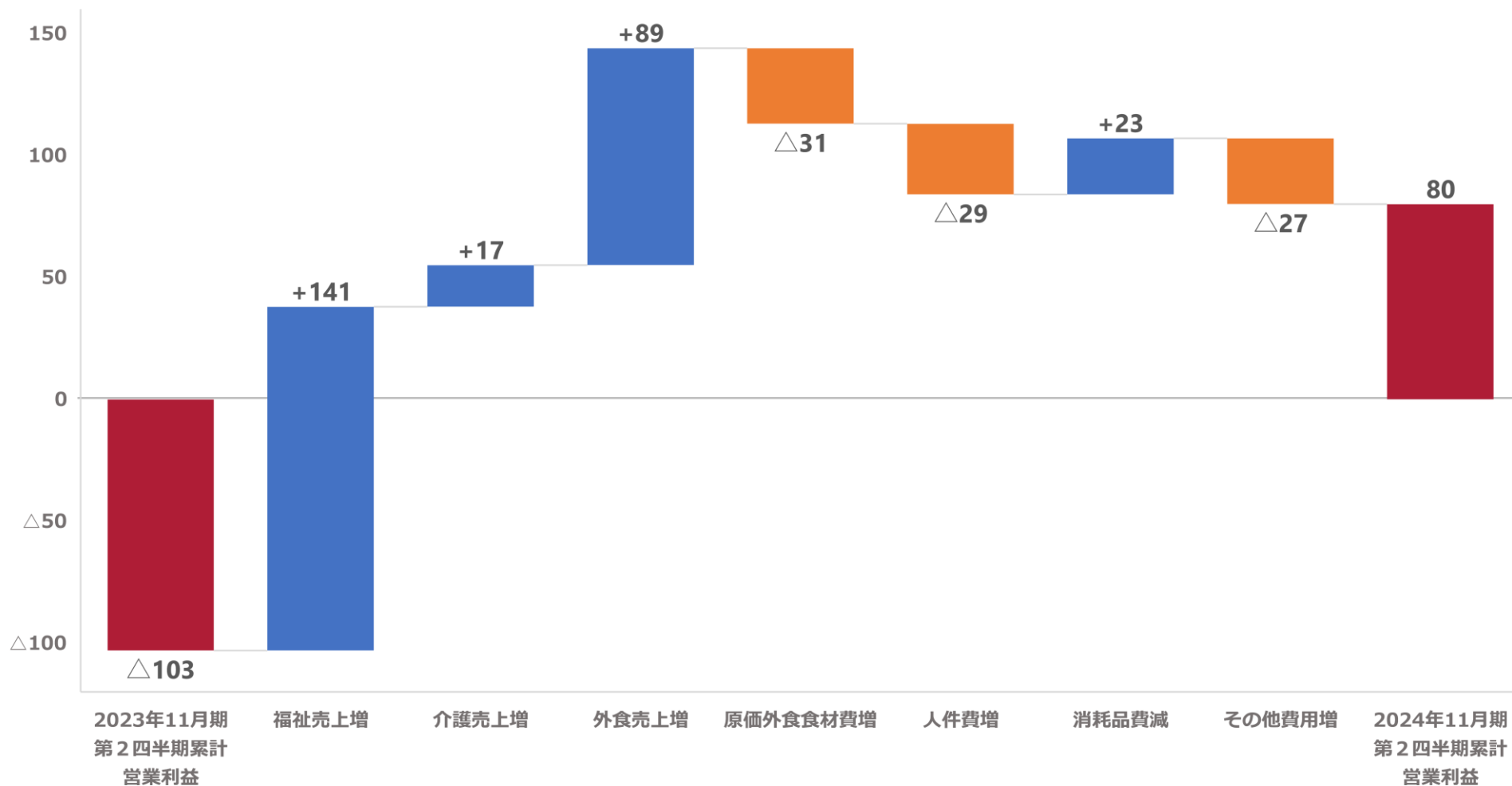
- 原材料の高騰で食材費率が増加した一方、人件費・消耗品費・水道光熱費率などは節減することができ、売上原価率の改善に寄与した

(単位：百万円)

	2023年11月期 第2四半期累計 実績 (2022/12~2023/05)		2024年11月期 第2四半期累計 実績 (2023/12~2024/05)		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	2,843	100.0%	3,092	100.0%	249	8.8%
売上原価	2,687	94.5%	2,757	89.2%	69	2.6%
(人件費)	1,297	45.6%	1,332	43.1%	35	2.7%
(原価外食食材費)	271	9.6%	303	9.8%	31	11.7%
(消耗品費)	68	2.4%	45	1.5%	△22	△33.5%
(水道光熱費)	74	2.6%	64	2.1%	△10	△13.7%
(その他)	976	34.3%	1,011	32.7%	35	3.6%
販売費及び一般管理費	259	9.1%	254	8.2%	△4	△1.9%
(人件費)	50	1.8%	44	1.4%	△6	△12.7%
(その他)	209	7.4%	210	6.8%	1	0.7%
営業利益又は営業損失	△103	△3.6%	80	2.6%	184	-



(単位：百万円)



- 福祉事業は前期開設事業所の順調な立ち上がりと既存事業所の稼働が向上し、売上高・営業利益ともに前期・予想を上回った
- 介護事業は新規利用者の獲得に注力し前期比では売上高・営業利益とも上回ったが、予想には未達となった
- 外食事業は客数が順調に推移し、売上高・営業利益ともに前期・予想を上回った

(単位：百万円)

		2023年11月期 第2四半期累計 実績 (2022/12~2023/05)	2024年11月期 第2四半期累計 予想 (2023/12~2024/05)	2024年11月期 第2四半期累計 実績 (2023/12~2024/05)	前年同期比 増減額	予想比 増減額
		金額	金額	金額		
福祉事業	売上高	1,519	1,645	1,661	141	15
	営業利益	24	78	119	94	40
介護事業	売上高	804	854	821	17	△32
	営業利益	△53	2	△3	49	△6
外食事業	売上高	519	565	608	89	43
	営業利益	8	16	49	40	32
調整額	売上高	-	△6	-	-	6
	営業利益	△84	△93	△84	△0	9
計	売上高	2,843	3,065	3,092	249	26
	営業利益	△103	4	80	184	76

調整額：各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去



2024年11月期は合計5事業所の開設計画

当初計画(通期) : グループホーム2(13居室)、就労継続支援B型1、通所介護1、外食1

実績(第2四半期末) : グループホーム-(-居室)、就労継続支援B型1、通所介護-、外食-

■ 福祉事業：1事業所開設

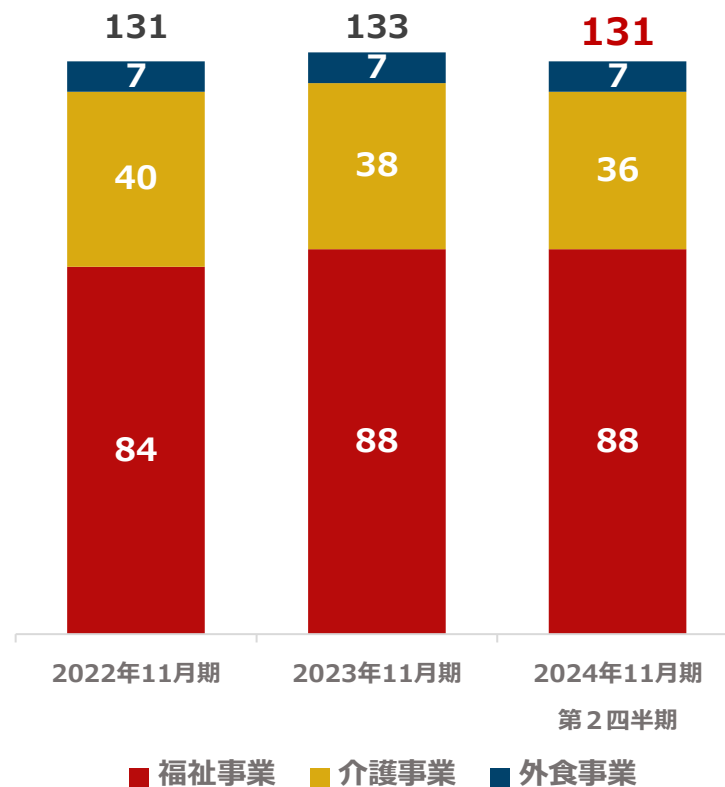
就労継続支援B型 1事業所

・「TODAY弁天」(2月)

※福祉グループホーム1事業所閉鎖

※介護デイサービス2事業所閉鎖

事業所数の推移



(単位：百万円)

	2023年11月期実績	2024年11月期 第2四半期実績	前期比 増減額
流動資産	3,188	3,292	103
固定資産	2,058	2,113	55
(有形固定資産)	1,225	1,229	4
(無形固定資産)	340	322	△18
(投資その他の資産)	491	561	69
総資産	5,246	5,405	158
負債	4,089	4,209	120
(流動負債)	972	1,056	83
(固定負債)	3,116	3,153	36
純資産	1,157	1,195	38

■ 流動資産の増減要因

- 現金及び預金の増加(+84百万円)
- 売掛金の増加(+21百万円)

■ 固定資産の増減要因

- 投資有価証券の取得による増加(+77百万円)

■ 負債の増減要因

- 借入金の増加(+58百万円)
- 未払法人税の増加(+34百万円)

■ 純資産の増減要因

- 繰越利益剰余金(+52百万円)
- 自己株式の増加(△17百万円)



(単位：百万円)

	2023年11月期 第2四半期累計 実績	2024年11月期 第2四半期累計 実績
税金等調整前当期純利益	△85	93
営業活動によるCF	△81	184
有形固定資産の取得による支出	△308	△68
有形固定資産の売却による収入	1	—
投資有価証券の取得による支出	—	△77
事業譲受による支出	△23	—
投資活動によるCF	△343	△139
短期借入れによる増減	△50	—
長期借入れによる収入	410	300
借入金返済による支出	△260	△241
財務活動によるCF	97	38
現金及び現金同等物の増減額	△327	84
現金及び現金同等物の期首残高	2,058	2,047
現金及び現金同等物の期末残高	1,731	2,131



■ 報酬改定による影響額（福祉）

	平均単価増減額 (円)	第2四半期会計期間 4月～5月 (千円)	通期 4月～11月 (千円)
放課後等デイサービス	320	4,110	34,960
就労移行支援	320	286	1,496
就労継続支援B型	410	2,191	10,077
生活介護	480	426	2,014
共同生活援助(介護包括)	△80	△1,860	△4,108
共同生活援助(日中支援)	△700	△426	△7,698
福祉事業計	180	3,044	36,741

■ 報酬改定による影響額（介護）

大きな影響なし



1	2024年11月期 第2四半期実績	3P
2	2024年11月期 通期業績予想	15P
3	2024年11月期 主要取組事項	21P
4	補足資料（会社・事業概要）	29P



- 福祉事業及び介護事業については、利用キャンセルは見られるものの、想定どおり推移していること。また、2024年4月の報酬改定の影響も軽微であること。外食事業については、想定を上回る客数で推移している。一方で、下期の出店計画を踏まえて業績予想は据え置いた

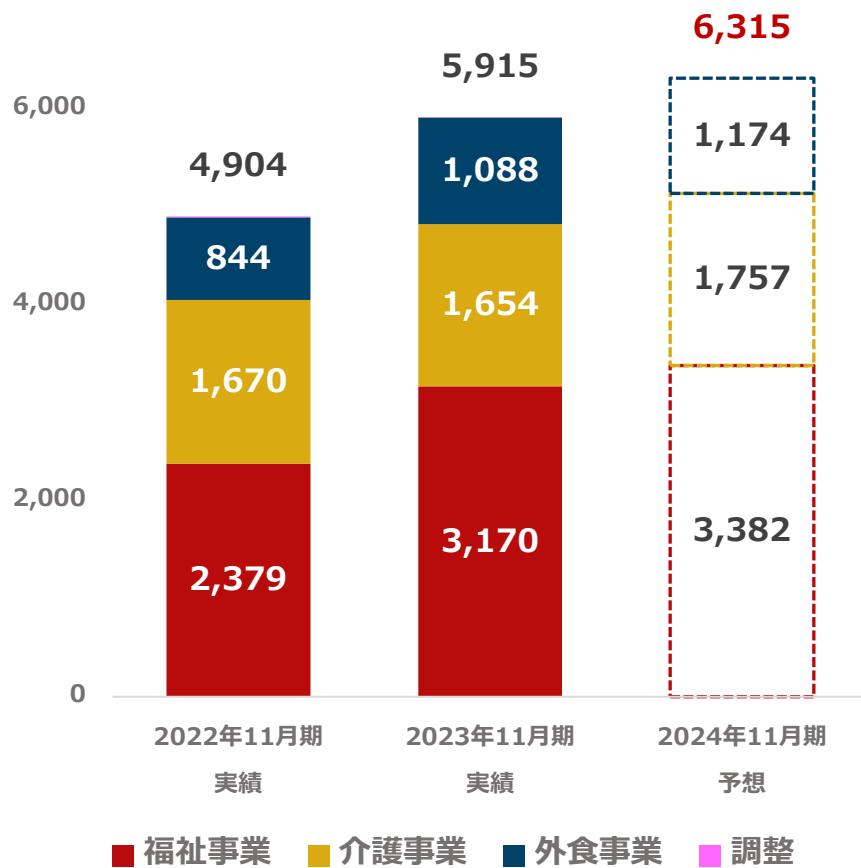
(単位：百万円)

	2024年11月期 第2四半期累計 実績 (2023/12~2024/05)	2024年11月期 予想 (2023/12~2024/11)	進捗率
	金額	金額	
売上高	3,092	6,315	49.0%
営業利益	80	120	67.0%
経常利益	97	107	90.9%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	52	70	75.0%



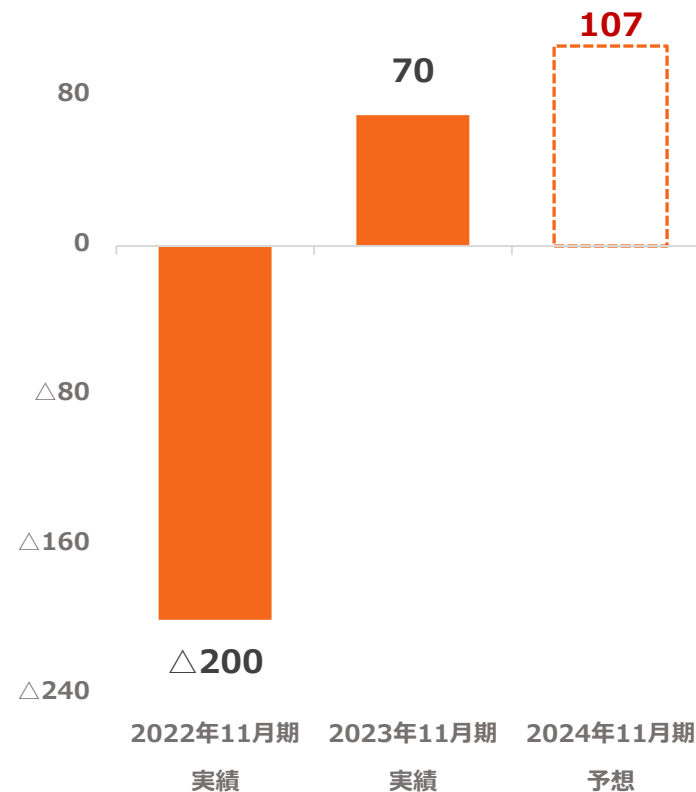
売上高の推移

(単位：百万円)



経常利益の推移

(単位：百万円)



- おおむね予想通りの推移をしており、福祉・外食事業を中心に期末には介護事業も含めてすべての事業セグメントが利益に貢献するものと予想

(単位：百万円)

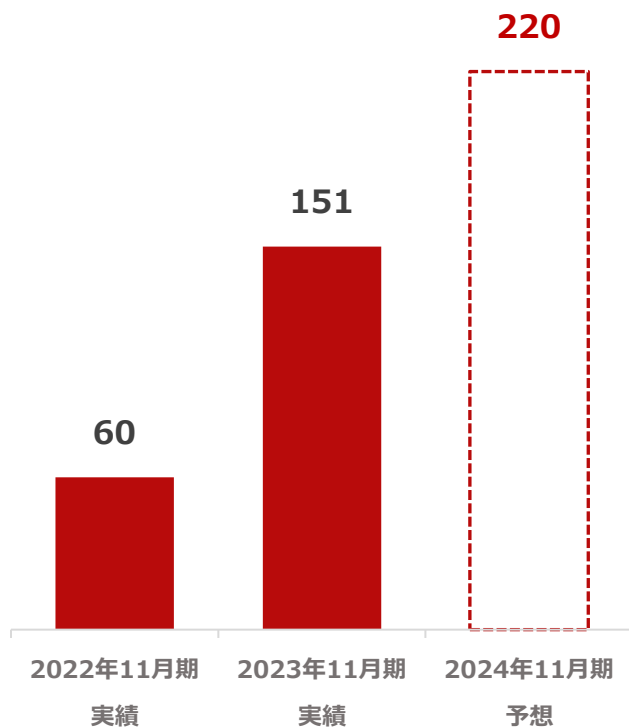
		2024年11月期 第2四半期累計 実績 (2023/12~2024/05)	2024年11月期 予想 (2023/12~2024/11)	進捗率
		金額	金額	
福祉事業	売上高	1,661	3,382	49.1%
	営業利益	119	220	54.0%
介護事業	売上高	821	1,757	46.8%
	営業利益	△3	38	—
外食事業	売上高	608	1,174	51.4%
	営業利益	49	47	105.1%
調整額	売上高	—	—	—
	営業利益	△84	△185	—
計	売上高	3,092	6,315	49.0%
	営業利益	80	120	67.0%

調整額：各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去

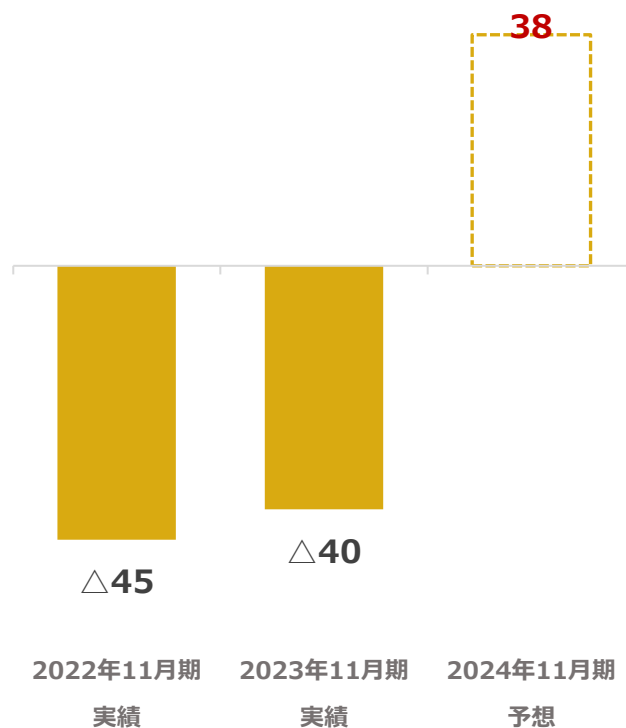


(単位：百万円)

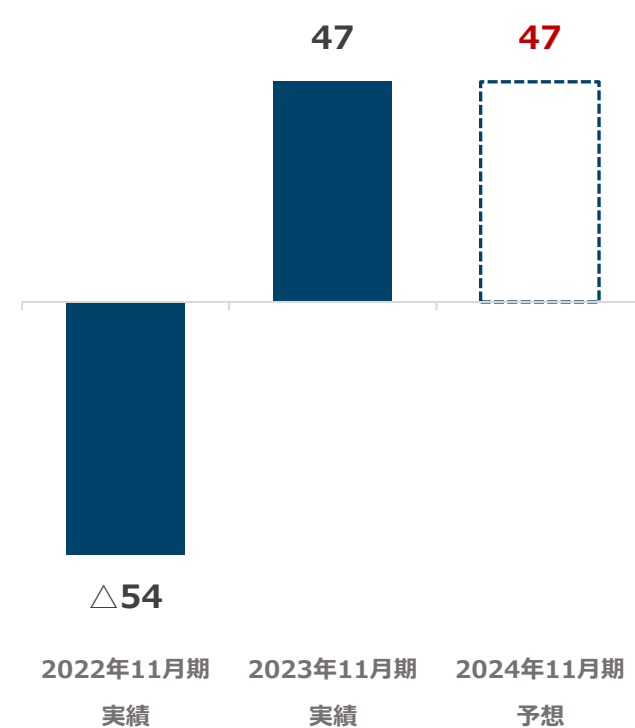
福祉事業



介護事業



外食事業



基本的な計画は変更せず。介護事業で開設予定だった1事業所を就労移行支援のリニューアルへと変更

■ **福祉事業：3事業所(17居室)を開設予定
1事業所をリニューアル予定**

共同生活援助（グループホーム） 2事業所

・東京都 1事業所(10居室) 他

就労継続支援B型 1事業所

・「TODAY弁天」（2月）

就労移行支援（リニューアル）

・東京都 1事業所

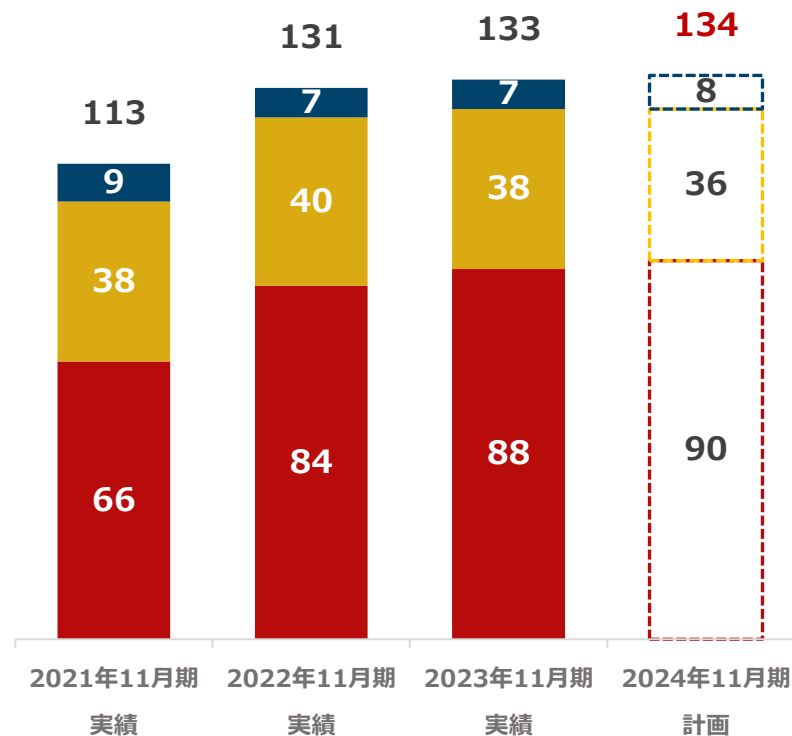
■ **外食事業：1店舗を開店予定**

居酒屋店舗 1店舗

※福祉グループホーム1事業所閉鎖

※介護デイサービス2事業所閉鎖

事業所数の推移



■ 福祉事業 ■ 介護事業 ■ 外食事業



1	2024年11月期 第2四半期実績	3P
2	2024年11月期 通期業績予想	15P
3	2024年11月期 主要取組事項	21P
4	補足資料（会社・事業概要）	29P



2024年11月期は継続して以下の施策を推進

効率的な 事業所の開設

上期：福祉事業所を1事業所、介護事業所を2事業所閉鎖
下期：転換を含め継続的にスクラップ&ビルドを推進

ポストコロナの 体制再構築

上期：福祉・介護の業態を越えて従業員の再配置を行った
下期：経費の適正化を推進し無駄を削減

報酬改定の対応

上期：説明会には積極的に参加するなど情報収集を実施、
資格取得の推進等改定に合わせた体制を整えた

新たな成長ドラ イバーの創出

上期：資本業務提携を2社と締結
下期：TODAY吉祥寺をリニューアル
就労継続支援B型事業所でIT系の取り組みを導入



- 独自開発のeラーニングシステムを活用し、在宅でもITスキルを学ぶ仕組みを構築している株式会社manabyとの業務提携契約を締結
- 障害者の就労支援や雇用の分野において、ITを駆使した構造改革を進め、障害者の就労機会を増やし、雇用を促進していくことで昨今の社会問題の解決を図っていく

会社名 株式会社 manaby (TOKYO PRO Market)

代表取締役 岡崎 衛

設立 2016年 6月

資本金 116百万円

事業内容 就労移行支援事業「manaby」
就労継続支援B型事業「manaby CREATORS」
一般向けeラーニング+カウンセリング事業「manaby WORKS」
システムエンジニアリングサービス事業「manaby TECHNO」
障害児通所支援事業「バンビ・アイランド」



一人ひとりが自分らしく働ける社会をつくる

■ 就労移行支援事業所 TODAY吉祥寺を「manaby吉祥寺事業所」にリニューアル予定



TODAYの強み

豊富なプログラム支援

障害特性や自己理解を深めるグループワークやプロの講師による講義を実施

カウンセラーによるカウンセリング

ストレスや不安、悩みを抱える方々に対して、心の健康と幸福をサポートする専門的なカウンセリングの提供

キャリアコンサルタントによるサポート

興味や能力、価値観を考慮し、適切なキャリア選択を見つけ、将来の職業や業界の選択肢を提案



manabyの強み

選択肢を広げるeラーニング

独自開発したeラーニングにより「自宅で学ぶ」「自宅で働く」といった選択肢を広げることができる

ITスキルの習得

在宅就労に多い、事務系作業に対応したパソコンスキルなどのITスキルの習得が可能

豊富なレクリエーション

コミュニケーション力向上のためのレク、ビジネスマナー等を学ぶ講義を定期的開催



就労移行支援事業所をより強い業態へ進化



- 企業全体のDX推進を支援している株式会社パパゲーノとの業務提携契約を締結
- 生成AI(ChatGPT)等の先端技術を活用した福祉事業所における職員業務の効率化、IT系の業務を行う就労継続支援B型事業所を展開していくことで、福祉分野における社会課題の解決を図っていく

会社名	株式会社 パパゲーノ
代表取締役	田中 康雅
設立	2022年 3月
資本金	10百万円
事業内容	企業向けDX支援事業 ワーク&リハビリ事業(就労継続支援B型) AI支援記録アプリ「AI支援さん」の開発(福祉DX) リハビリーナラティブ事業



「生きててよかった」と誰もが実感できる社会



■ 当社運営の就労継続支援 B 型事業所「TODAY」で(株)パパゲノが展開しているIT系の取り組みを導入

就労継続支援 B 型事業所

+today

TODAYの取り組み

「自分らしく働く」

シール貼りや商品の仕分け、梱包など負担の少ない軽作業が中心

ヘラクレスオオカブト等の飼育・販売

幼虫のマット交換、飼育ケースの清掃作業を行い、ブリード飼育した生体を販売

野菜の栽培・販売

畑で季節の野菜を栽培し、店頭販売



Papageno

IT系の取り組み

パソコン仕事の実現

ITスキルを学び、企業の業務のデジタル化(DX)に関する仕事を受託

平均工賃の向上

企業から依頼されたIT業務を請け負うことで、ITスキルの習得と同時に平均工賃額が向上

一般企業へ就職

就職困難な方でもIT技術を活用することにより、一般企業への就職者を増加

AI支援さん

AIを活用した支援記録アプリ

- ▶ スマホで誰でも支援記録ができるため、パソコンが苦手なスタッフでも記録を残すことができる
- ▶ 会議の録音・記録に活用できる
- ▶ 面談音声を録音すれば自動で文字起こしができるため、スタッフの事務仕事時間の削減
- ▶ 毎月の利用者記録をまとめて、計画相談など関係機関に情報共有しやすい



就労継続支援 B 型事業所の支援の質の向上と業務効率化を図る

■ 福祉分野における社会問題の解決を促進

解決すべき課題

障害者

- 一般企業への就職が少ない
- 就職後の定着率が低い
- 就労賃金(作業工賃)が低い

事業所

- 手作業が多く職員の負担が大きい

法人

- 障害者雇用が困難

当社の取り組みによる解決

- 障害特性や自己理解を学習
- ITスキルの習得、在宅就労の実現
- 一般企業で継続就業

- IT技術の活用による作業効率化
- より手厚い支援を提供

- 障害者のテレワーク勤務の実現
- 障害者雇用の法定雇用率の達成



■ 配当政策の基本方針の変更

従前

財務体質の強化及び将来への積極的な事業展開のため内部留保の充実を図る

今回

中長期的な企業価値向上に向けた戦略的投資や財務体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な利益還元を業績に応じて適切に行う

■ 配当予想の修正(初配)

	年間配当金(株)		
	中間配当	期末配当	合計
2024年11月期 (予定)	—	10円	10円

配当性向

連結配当性向
30%を目標とする

※今後の事業環境や業績推移の進捗によって、予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。



1	2024年11月期 第2四半期実績	3P
2	2024年11月期 通期業績予想	15P
3	2024年11月期 主要取組事項	21P
4	補足資料（会社・事業概要）	29P



AHCグループは、『人を想う』という共通理念の下、多様な価値観を認め合い、すべての人が自分らしく活躍できる社会の実現を目指しております。

この実現に向け、関わり合うすべての人が希望にあふれる未来を創造できるよう社会福祉を中心に事業活動を行い、ご利用者様、株主様、お取引先様、従業員、地域社会等すべてのステークホルダーとの良好な関係を築き、中長期的な企業価値の向上に努めることで、持続可能で豊かな社会づくりに貢献してまいります。

マテリアリティ

取り組みテーマ

Environment
(環境)

環境負荷の低減



- 省エネルギー製品の導入
- 食材の有効活用

Social
(社会)

健康的な生活環境の提供



- 生活レベルの維持・向上を促す施設の提供
- 障害者・高齢者に配慮した福祉サービスの提供

働きがいのある職場の提供



- 柔軟で安全・安心な労働環境の促進

質の高い教育の場の提供



- 利用者の療育活動や生涯学習機会の提供
- 従業員への教育機会の創出

差別のない公平な社会の実現



- ダイバーシティ & インクルージョンの推進
- あらゆる形態の暴力・虐待の排除

Governance
(ガバナンス)

ガバナンス体制の強化



- 持続可能な経営基盤構築の推進





持続可能な社会への貢献を目指す
環境循環型モデル事業「GROWTH FIELD」

①障害福祉サービス事業とともに、循環型のきのこと栽培・販売、昆虫飼育・販売を実現する

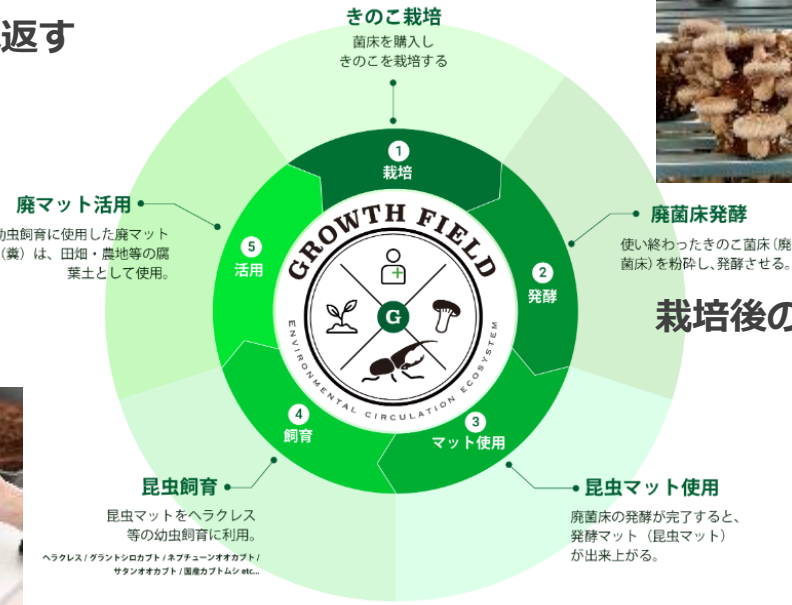
昆虫育成後の廃マットは
畑の養分になるため土へ返す



きのこと栽培(菌床椎茸の栽培・販売)



※純国産の菌床を使用した、
千葉県産の菌床椎茸として販売



栽培後の廃菌床に養分を足して発酵させる



ヘラクレスオオカブト等の昆虫の幼虫を育てる
「昆虫マット」として活用



②付加価値の高い仕事場の提供(福祉課題の解決)

付加価値の高い仕事場を提供することで、就労継続支援B型事業所「TODAY」利用者の「多様性のある社会参加」と「工賃向上」を推進

「きのこハウス」
(菌床椎茸の栽培・販売)



「ヘラクレスデザインラボ」
(ヘラクレスオオカブト等の飼育・販売)



施設外就労 作業工賃



2023年12月～2024年5月は
販売実績累計 230頭以上
販売金額累計 400千円突破



当社グループは 社会福祉に特化した人生の総合サポート企業です

会社名	AHCグループ株式会社 (エイエイチシーグループ)
本店所在地	〒101-0032 東京都千代田区岩本町二丁目11番9号
代表者	代表取締役社長 荒木喜貴
設立	2010年1月
資本金	54,119千円 (2024年5月31日現在)
従業員人数	471人 (2024年5月31日現在) ※パート・アルバイト除く
業種	福祉事業、介護事業、外食事業 他

グループ会社 (連結子会社)

- S Lカンパニー株式会社 (福祉事業所の運営)
- テラスワールド株式会社 (福祉事業所の運営)
- 介護ジャパン株式会社 (介護事業所の運営)
- センターネットワーク株式会社
(食材の仕入・加工・物流)
- 株式会社 R A I S E (福祉事業所の運営)
- 株式会社 C O N F E L (福祉事業所の運営)



福祉・介護・外食の3事業を中核として事業展開



働くこと・自立していくことを実現させる多様なサービスを提供

福祉事業：業態別概要



《児童発達支援・放課後等デイサービス》

知的障害・発達障害を抱える未就学児・小学生・中学生・高校生を対象とした生活能力の向上のために必要な訓練等の療育プログラム、社会との交流促進につながる外出プログラム等を提供



《就労移行支援》

企業への就労を希望する65歳未満の障害や難病を持つ方に、具体的な就労相談や就業体験等を促し、一般企業への就労実現を支援



《就労継続支援B型》

生産活動にかかる知識・能力の向上や維持が期待され、雇用契約どおりの就業が困難な障害を持つ方に、生産活動とそれを通じた工賃の支払いの場を提供



《共同生活援助(グループホーム)》(介護包括型・日中支援型)

共同生活を営む住居を提供
障害を持つ方に、共同生活を営む住居で相談や入浴、食事の提供やその他の日常生活上の援助を実施



《生活介護》

介護を必要とする障害を持つ方に、主に昼間において、日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供や身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を実施



地域に根ざし、個別サービスを提供することで高い稼働を実現

介護事業：通所介護(デイサービス)概要



《デイサービス クラス》

日常に近い環境の中で過ごして頂くことができるデイサービス
朝食と夕食・宿泊サービスを実施し、24時間切れ目のない介護を提供



《デイサービス あいである》

1日の通所型レクリエーションが充実しているデイサービス
大浴場を設置し、入浴サービスを実施



《介護予防運動デイサービス KAGAYAKI》

午前又は午後の短時間型で機能訓練を中心としたデイサービス
スクエアステップエクササイズにより認知機能・歩行機能の向上
自立度が高いご利用者様が多く、集団体操の他、個別対応時間を多く提供



《デイサービス グリーンデイ》

1日の通所型で入浴とリハビリを両立したデイサービス
ストレッチ・コアエクササイズ・マシントレーニングの機能訓練メニューを提供
プライバシーを守るため、個別入浴サービスを実施



《デイサービス トリコロール》

1日の通所型で食・運動・娯楽にこだわったサービスを曜日毎にプログラムを変えて実施しているデイサービス



働く世代をメインターゲットにした店舗を展開

外食事業：業態別概要



《ねぎま三ぞう》

30代～40代のサラリーマン層をメインターゲットとして「ねぎま」「煮込み」「鮮魚」をメニューの柱とした高品質・低価格を実現した大衆居酒屋業態



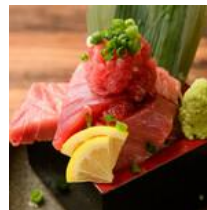
《ニュー大衆居酒屋三ぞう》

20～30代の若者をメインターゲットとして「煮込み」「餃子」「牛タン」「ねぎま」を名物とした現代らしいモダンでお洒落な雰囲気の大衆居酒屋業態



《Bistro TERIYAKI》

ワインと本格ビストロをリーズナブルに提供する居酒屋業態
デートやお祝い、歓送迎会などハレの日の需要に対応





関わる全ての人を想う
というささやかな一歩を、コツコツと積み重ね、
想いを深く広げていく先に、
希望にあふれる未来を創造します

免責事項

- ・本資料に掲載されている将来情報等は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、その実現を保証するものではありません。また、当社グループの事業を取り巻く、経済情勢、市場動向等の様々な要因の変化により、実際の業績や結果と乖離が生じる可能性がありますので予めご承知おきください。
- ・本資料は、当社及び当社グループを理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却等を勧誘するものではありません。
- ・今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる情報の更新・修正を行う責務を負うものではありません。

【お問合せ先】

AHCグループ株式会社 経営管理部 I R 担当

TEL : 03-6240-9550

E-mail : info-ir@ahc.co.jp

